



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

# The service club of the YMCAs THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

## 主 題 (2011~2012)

- ・ **国際協会会長** Finn A. Pedersen (ノルウェイ)  
『Audere est Facere - To dare is to do』  
「とにかくやろう - 成せば成る」
- ・ **アジア地域会長** Wichiane Boonmapajorn (タイ)  
『Audere est Facere - To dare is to do』  
「とにかくやろう - 成せば成る」  
スローガン 『Mission with Faith』  
「信念をもって使命を果たそう」
- ・ **西日本区理事** 浅岡 徹夫 (近江八幡クラブ)  
『ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献』  
「Contribute to Community through Active Services with Love」  
副 題 『理想を目指して変革と行動!』  
「Change Ourselves and Take Actions Our Lofty Goal」
- ・ **六甲部部长** 森 紘一 (神戸学園都市クラブ) 『伝統を守り、若返りを図ろう!』  
副 題 「もっと楽しく、もっと活発に!」
- ・ **西宮クラブ会長** 濱崎 進一 『皆で知恵を出し合い、行動して行こう!』  
「Let's create wisdom each other, and let's take act up to all member's Y'sdom!」

2011年11月  
763号  
65期-05号  
since 1948.5.17

・スポンサークラブ  
大阪クラブ  
・DBC 締結  
近江八幡クラブ  
広島クラブ

## クラブ主役員

会 長 濱崎 進一  
次期 会長 長井 慎吾  
直前 会長 馬場 一郎  
副 会長 山本 常雄  
書 記 浅野 純一  
書 記 阪根 新  
会 計 岩田 健司  
会 計 足立 康幸  
監 事 清水 彬久  
担当主事 三島 浩司  
部交流主査 馬場 一郎  
区交流主任 廣瀬 一雄

第14回チャリティラン  
11月3日

- ・ **2011年11月 西日本区強調ポイント** “Public Relations Wellness”  
「ワイズデーはワイズ広報デー、ワイズデーでの催しや事業を積極的に外部に広報しましょう。出来ればワイズ以外の方も参加出来るイベントを企画しましょう。」  
辻野 啓一 広報事業主任 (奈良クラブ)

## 2011年11月第一例会のご案内

日時: 2011年11月18日(金) 19時~21時

場所: 西宮YMCA 保育園3階ホール

ドライバー: 足立康幸ウイメン、丸山悦治メン

1. 開会点鐘 濱崎会長
  2. ワイズソング 一同
  3. 聖句朗読
  4. ゲスト・ビジター紹介 濱崎会長
  5. 食前感謝・会食 一同
  6. ゲストスピーチ・スピーカー 池本 廣希先生
- テーマ「**食の安全・安心について**」環境食品セミナー
7. お誕生日のお祝い(10月、11月合同)
  8. Y'sニュース 濱崎会長
  9. YMCAニュース・お知らせ 三島主事
  10. 閉会点鐘 濱崎会長
- 会費・BF・後片付け (プロフィールは目次欄)

## 今月の聖句

『あなたたちは、夕方には「夕焼けだから、晴れだ」といい、朝には「朝焼けで雲が低いから、今日は嵐だ」という。このように空模様を見分けることを知っているのに、時代のしるしは見る事が出来ないのか。』マタイによる福音書第16章2-3節

よしひさ  
清水彬久メン 選

10月 例会出席状況 在籍会員数 22名

第1例会(10.16日) 第2例会(10.7日)

メン 16名 メン 11名

メネット・コメット 13名 メネット 0名

ゲスト・ビジター 0名 ゲスト・ビジター 0名

合計29名 make-up 5名 合計 11名

出席率 95.5% (累計出席率 93.2%)

ファンド・BFの累計	10月	累計
ニコニコファンド	0p	8,000p
Brotherhood Fund(BF)	0p	10,500p
使用済切手	0g	0g
東日本大震災支援ファンド	0p	14,000p

## HAPPY BIRTHDAY TO YOU !

10月9日 廣瀬 敦子メネット、10月12日 万本 恵メネット  
11月10日 浅野 純一メン、11月13日 阪根新メン、11月18日 山本 容子メネット、11月30日 山口 吉郎メン

〒662-0977 西宮市神楽町5-23 西宮YMCA内 第一例会: 第3金曜日19時~  
TEL: 0798-35-5987 FAX: 0798-23-6170 交通: JRさくら夙川下車南  
西宮クラブホームページURL: <http://www.kobeymca.or.jp/ys/nishinomiya/index.html> (プリテン)  
西日本区ホームページURL: <http://www.ys-west.or.jp> (理事通信、事業主任通信、各主資料他)

## 今月のダイジェスト

A. 11月号ブリテン(定期報告版)	P	B. 11月号ブリテン別冊(会員寄稿コーナー)	P
1. 会長メッセージ 濱崎進一 会長……………1		1. 神戸YMCA 125年を振り返って(その17) 長井慎吾 125周年記念事業実行委員長 ……8	
2. 第一例会報告 ドライバー浅野メン、小野メン…2 <b>西宮YMCA・西宮YMCA保育園合同カーニバル</b> ドライバー:石井恭子ウイメン(実行委員長)、馬場貴英メン		2. 西宮 YMCA 保育園だより 三島浩司園長…………9	
3. 交流事業主任だより5 廣瀬交流事業主任…………2		3. 西宮・宝塚リーダー会だより 前岸もえこリーダー…9	
4. 各種報告		4. 触主面登場 - 3 堤一幸メン……………10	
・EMC 通信3 山口政紀 EMC 委員長……………3		5. 「音を重ねる日々は心を重ねる日々に」47…………10 楽団“あぶあぶあ”&ミュージカルチーム“LOVE” 代表 ひがしのようこさん(濱浩一メン)	
・ファンド事業報告2 濱ファンド委員長		6. 水の流れのままに47(俳句) 小野勅紘メン…………11	
Y's ニュース 濱崎進一 会長……………4		7. 好朋友(はおぼんゆう)続編 小野勅紘メン…………11	
YMCA 報告 三島浩司主事……………4		8. 第14回チャリティラン 走行記 小野勅紘メン…………11	
会計からのお願い 会計 岩田メン・足立メン…5		<b>ゲストスピーカーのプロフィール</b>	
5. 今後の予定……………5		<b>池本 廣希(いけもと ひろき)先生</b>	
6. 編集後記……………6		兵庫大学経済情報学部教授、学部長 1947年生れ	
7. 西日本区理事通信(10月号) 浅岡徹夫理事…………7		専門: 環境経済学、農業経済学、食料経済学	
8. 東日本区からののお知らせ 田中博之東日本区書記		ひょうご食品認証制度推進委員会委員長、 いなみ野ため池ミュージアム運営委員会副委員長等	

## 第14回チャリティーラン、なでしこに魯け！庭尽眷回していくぞー、GO, GO, GO□

### 会長メッセージ5



濱崎進一 会長

#### 会員増強計画 第2弾

今月はクラブメンバー数の推移と在籍年数から考察してみます。

西宮クラブの現在メンバー数は22名(特別メネット1名は除く)です。西宮クラブは63年の歴史があります。メンバー数の推移は45周年(1993年)37名、50周年(1998年)27名、55周年(2003年)は22名と減少の傾向でした。先月にも記載していますが45周年以降にて現在も在籍しているメンバーは9名です。18年の間に3名のメンバーが逝去され、25名のメンバーが退会されています。EMC委員長山口メンの調査では、最近5年間で9名のメンバーが入会されましたが、4名のメンバ

ーが逝去され、4名のメンバーが退会されました。

メンバー在籍年数の構成は、20年以上は9名、20年未満15年以上は0名、15年未満10年以上は1名、10年未満5年以上は2名、5年未満は10名の状況です。クラブメンバー数の推移を考えると、過去数多くのメンバーが入会されていますが、逆にまた入会メンバー以上に退会者が生じているのも現状です。退会された高年齢のメンバーでは、仕事をリタイアされるのと合わせて退会され、また若いメンバーでは仕事の関係で例会に出席が困難になる方など理由は多方面に渡ると思われますが、メンバーの増強を推進すると共にメンバーの退会問題を検討、対策を講じていかないとメンバー数の増員は結果として現われない状況がここ10数年の傾向です。

西日本区ではEMC事業委員会で「平均年齢調査」を実施されています。また、六甲部では「EPJプロジェクトチーム」の検討会議の中でも六甲部8クラブのメンバーの高齢化、増員計画などの問題点が出てきています。

西宮クラブのメンバー年齢構成を見ても、30才代1名、40才代3名、50才代2名、60才代16名となっています。注目すべき点は、クラブの中でも最も中心的活動が期待されるはずの年代の在籍年数が5年以上15年未満のメンバーが3名と少数である点と、数多くのメンバーが入会されているにも拘わらず短期間で退会されているケースが多い点ではないでしょうか。

また60才以上の方では、仕事はリタイアしているが、まだ仕事を継続していても時間的には自由が効いて余裕のある方も一考に値するのではないのでしょうか。

一方、若年層(30才～50才)の入会促進を図ることも大切です。いずれにしても過去の退会理由を把握、分析し、現在のクラブ例会運営等に問題点はないのか、検討する時期になっているように思われます。いずれの分野でも叫ばれていますが、特に若年層の確保は最も力点をおくべき課題でしょう。

とは言うものの、過去において出席率が著しく悪い私が提案するのは甚だおこがましいことですが、ここは過去の失礼はお許し頂いて、良いクラブ運営をしていくためのアイデアを戴きたくお願いいたします。

## 例会報告(10月)

ドライバー 石井恭子ウイメン  
馬場 貴英メン

### 西宮 YMCA・西宮 YMCA 保育園 合同カーニバル



日時: 2011年10月16日(日)10時～15時  
会場: 西宮 YMCA ならびに保育園全館  
出席者: 浅野、足立、石井、岩田、小野、長井、馬場(一)、馬場(貴)、瀨、瀨崎、藤原、万本、三島、山口(政)、山口(吉)、山本の各メン・ウイメン16名。足立、岡田、馬場(季)、瀨、瀨崎(保)、廣瀬(敦)、万本(恵)、山口(洋)、山口(マリ子)、山本(容)、宮地各メネット11名。コメント2名出席者合計29名。欠席者6名(内岡田、阪根、堤、廣瀬、丸山各メンは第二例会やじゃがいもファンド

にMU)。じゃがいも配達もメークアップ対象としました。

10月16日(日)、石井実行委員長のもと、第29回西宮YMCA・西宮YMCA保育園合同カーニバルを、天候にも恵まれ、大きな事故もなく盛大に、開催することができました。西宮ワイズも、のみの市、カレー販売を通じて働きを捧げることができました。

今年は、大変な災害の最中であり、例年の販売に加えて宮古の物産販売をのみの市に併設するかたちで出させていただきました。これからもささやかながら支援に繋がる働きを、ワイズとして継続して取り組んで行ければよいと思います。

今年は、カーニバル全体では例年より来場者がやや減少し、売り上げも減少傾向でしたが、工夫と知恵で支出を抑えることで、カーニバル全体としては、ほぼ例年通りの29万円余りの収益金を生み出すことが出来ました。多くの方々のお支えにより、カーニバルを実施できたことにあらためて感謝いたします。ありがとうございました。(馬場貴英)

## 交流事業主任だより5

2011-12 交流事業主任 廣瀬 一雄メン  
部会訪問も前回の9月23日(金)



に大阪南YMCAでの阪和部会に続いて11月号では丁度折り返し部会の西中国部会からレポートさせていた





だきます。10月1日(土)は広島YMCAでの部会。記念講演は宝塚クラブの長尾ウイメン。懇親会でのアトラクションは谷本部長の趣味か?右上写真のフラメンコ。浅岡理事も釘づけ。勿論私も・・・。

来年の区大会のアピールも長浜のメンメンを中心に力のこもること、こもること。上掲の風景写真のとおり。



翌10月2日(日)は鹿児島霧島温泉での九州部会。中堀部長が霧島市の観光協会副会長ということ



で、そこで私も熊本駅前に前泊。午前8時31分発の特急くまがわ1号で人吉へ。肥薩線の旅は一興です。左の写真は「いさぶろう」吉松までの乗車です。霧島温泉駅からは路線バスで第一部の式典には十分間に合ったのですが昼食を食べ損ね。近江八幡の大田会長のお弁当を少しオヨバレ。

大温泉と大宴会に感激し、下の写真は庭園で安田事務局さんに風呂上がりのショットをお願い。司会の中松メン、



予約でお世話になった田辺書記に感謝。宿泊は4人部屋

でルームメートにも恵まれ?次期理事の成瀬メン、事務局長の谷川メン。そして神戸西の加茂メン。フェローシップのひと時が持てました。10月8日(土)は六甲部会。神戸Yでの式典のあとは新神戸クラウンプラザでの懇親会。森部長の人柄からか多くのビジターの参加もあり大盛況。部会の詳細報告はブリテンでご覧いただき、



ここはそのワンショット。馬場交流主査、平野直前交流主任、石田次期主任、そして私と勢揃いしたひとコマです。

10月10日(月・祝)はフレッシュウイメンの石井さんがJ Cの時からつながりで阪神西宮駅前の公園での障害者グループ関係の皆さんの出店に参加。



宮古の商品を販売。浅野メン、馬場メン、山本メンが写真に登場です。

10月15日(土)は岡山教会での瀬戸山陰部会。新幹線岡山駅ホームで

近江八幡の皆さんに見つかり?駅前で集合写真。蔵知部長のようにおごそかな雰囲気のパイプオルガンでのワイズソ



ング。帰路は福山クラブの小松会長と御一緒に徒歩にて駅まで。

10月16日(日)はびわこ部会。会場は草津駅前のエストピアホテル。ローカルでこの会費、との思いも十分なもてなしで納得。テーブルを同じくした一井部長さんの心配りはいかばかりか。部長の皆さんお疲れ様でした。主任の皆さんとは飲みながら、話しながら忘年会の相談を。懇親が一番です。終了後にDBCの交流を近江八幡の安田邸で。部会は不在の坂井書記もご一緒。広島クラブの益国会長、藤川Yサ主任、メネットさんには名神高速で西宮まで拘束されて?ありがとう。

## 各事業委員会報告

### EMC通信3



山口 政紀 EMC 委員長

第一四半期(7月~9月)はメイキャップで平均92.4%、10月も95.5%となりました。素晴らしい結果で良

かったですね！今後も行事を活用してMU(メイキャップ)をお願いいたします。2011 - 12年度の西宮クラブの四半期は平均92.4%。これも濱崎会長、前EMC委員長の小野メンの提唱される「メイキャップ」を大いに活用しての例会を大事にしようという呼びかけの成果であると思います。皆さん良かったですね 在籍会員22名、総数66名、出席総数(MU含む)61名で92.4%となりました。

## ファンド事業報告2

濱ファンド事業委員長



### 恒例のじゃがいも&かぼちゃ大作戦のご報告

10月21日(金)午後6時に十勝よりじゃがいも850個とかぼちゃ200個が我が家のガレージに到着しました。早速、箱(じゃがいも)の湿気を気にしながらの荷卸し、そして持ち帰る分や22日(土)、23日(日)の配達準備と慌しかったのですが、今回は家内の親戚にて不幸があり、家内不在で皆様にはご不便をお掛けしました。

到着時にはじゃがいもが約200個売れ残っており、多少販売に苦労しましたが、10月中に完売することが出来ました。また、22日夕方の配達途中で豪雨にあい、配達の中断を余儀なくされましたことは珍しいことでしたが、23日までにほぼ配達は完了しました。皆様のご協力に感謝いたします。

今後は出来るだけ早く代金の回収に努めていただきクラブの銀行口座に入金もしくは、直接現金でお持ち下さい。なおご入金頂いた場合はご一報下さい。

## Y'sニュース

濱崎進一 会長

1. 第10回六甲部会 10月8日(土) (終了)  
神戸YMCA + ANAクラウンホテル 総参加者約140名、西宮クラブ メン9名、メネット3名

2. 障害者授産施設製品販売(ふれあいネット)  
10月10日(月) 宮古支援製品販売(終了)  
総参加者 約500名 西宮クラブ メン11名、メネット2名、コメット1名
3. 西宮YMCA・保育園合同カーニバル 10月16日  
(終了)西宮クラブメン16名、メネット11名、コメット2名
4. じゃがいもファンド 10月21~23日(終了)  
西宮クラブ メン20名、メネット 6名

### 5. チャリティラン (終了)

日時:11月3日(木祝)9:00~

場所:しあわせの村、今年も西宮クラブはなでしこに続けと、なで肩で本気で優勝を狙います。OUENよろしく! カレーのお店もよろしく! グループラン 4名×2チーム=8名参加 結果10位、59位

### 6. あぶあぶあ&LOVE30周年記念講演 (終了)

11月6日(日)13時30~、うはらホール(JR住吉駅)

### 7. ポーポキと一緒に平和を創りだす集会~映像で考える平和~(平和ってどんな形?映像で「平和」を表現することは可能?)一緒に「平和」を考えよう!

日時:2011年11月26日(土)午前10時~午後2時

会場:神戸YMCA三宮会館

会費:無料(募金にご協力下さい)

申込み先:国際奉仕センター(担当:永井)

### 8. 第27回午餐会

日時:2011年11月26日(土)正午~午後2時  
(YMCA ニュースに詳報)

### 9. 第24回チャリティワインを楽しむ会

日時:2011年12月9日(金)18:30~20:30  
(YMCA ニュースに詳報)

### 10. 神戸YMCA125周年記念音楽イベント

日時:2012年1月7日(土)開演14時~15時30分  
会場:うはらホール(JR住吉駅下車)

申込み先:神戸YMCA125周年実行委員会



西宮YMCA 三島浩司メン

10月は西宮を始め、三宮、学園都市、三田など神戸YMCAの各センターでバザーやカーニバルが行われました。それぞれの場で多くのボランティアの方々や会員、来場者を迎えて楽しいひと時を過ごしていただけたのではないかと思います。

西宮のカーニバルでも、保育園を巣立っていった子ども達、保護者の方々やリーダーOBOGの方々など、多くの方々があつぱりに元気な顔を見せてくださったり、近隣の住民の方々も遊びに来てくださったりと、本当に楽しい一日となりました。YMCAのバザーやカーニバ

ルでは、このような楽しさを味わっていただくことと共に、収益の多くを捧げることと併せて「国際理解・協力」ということに目を向けていただくことも大切にしています。

30年程前、長田にあった旧西神戸YMCAのロビーの壁に「わが子への愛を世界のどの子にも」という言葉が掲げられていました。今、「子どもの命が光り輝くように」という私達の願いであるこの言葉を考えると「虐待」「震災」「津波」「水害」「原発事故」などにより厳しい状況にあるこの国の子ども達の姿がまず浮かんできます。けれども、世界の各地にも「貧困」「飢餓」「災害」などで厳しい状況にある子ども達が沢山いるのです。この秋のバザーやカーニバルといった機会を通して「わが子への愛を日本のそして世界のどの子にも」と人々に伝えていくことをこれからも大切にしていかなければと改めて考えさせられた一日となりました。

ご奉仕いただいた皆様、ありがとうございました。

## 今後の予定

### 1)世界YMCA/YWCA合同祈禱週

(11月13日～19日)

テーマ:「影響を与える声」

～若者は権利と正義を呼び求める～

YMCA・YWCA合同礼拝

日時:11月15日(火) 9:00～10:00

場所:神戸YWCA会館

奨励:中野敬一先生(神戸女学院大学)

### 2)第27回午餐会

日程:11月26日(土) 12:00～14:00

場所:神戸YMCA4階 サイコー亭

講師:奈良 昭彦さん(大阪女学院講師)

テーマ:「国民総幸福」を追求する国ブータン

会費:1,500円

申込:神戸YMCA本部事務局まで

(TEL:078-241-7201)

### 3)第24回チャリティーワインを味わおうの会

日程:12月9日(金) 18:30～20:30

場所:神戸YMCA4階 サイコー亭

テーマ:「ひと足早いクリスマス料理とワインの話」

会費:6,000円

申込:神戸YMCA本部事務局まで

(TEL:078-241-7201)

# 会計よりのお願い

会計 岩田 健司

足立 康幸

西宮クラブ今期の前期(7月～12月)分の会費を集めております。皆様速やかに会計の方までお寄せ下さい。例会時に現金でお持ちくださっても結構ですし、下記の口座に振り込んでいただいても結構です。なお、振込み手数料はご負担下さい。よろしくお願いいたします。

**(口座にご注意下さい。)**

**【会費等振込み口座】<通常会計>**

振込み先口座:三井住友銀行夙川支店

普通預金、口座番号:3230220

口座名:西宮ワイズメンズクラブ 山口政紀

**【じゃがいもファンド等の口座】<特別会計>**

振込み先口座:三井住友銀行夙川支店

普通預金、口座番号:3289977

口座名:西宮ワイズメンズクラブ 山口政紀

## 【今後の予定】

**【ドライバーの予定】**

12月(山本、小野)、1月(濱崎、三島)、

2月(廣瀬、藤原)、3月(山口政、万本)、

4月(阪根、濱)、5月(岩田、馬場(一))

60周年記念誌編集作業:第2・第4金曜中心

### 六甲部他クラブの第一例会予定(計148名)

・神戸クラブ(第2火曜日、神戸YMCA)21名

・神戸西クラブ(第3火曜日、同上)12名

・神戸ポートクラブ(第2木曜日、グリーンH神戸)19名

・宝塚クラブ(第2水曜日、宝塚ホテル)21名

・さんだクラブ(第2水曜日、三田YMCA)18名

・神戸学園都市クラブ(第3木曜日、西神戸YMCA)18名

・芦屋クラブ(第3水曜日、ホテル竹園芦屋)17名

**・西宮クラブ(第3金曜日、西宮YMCA)22名**

**【11月の予定】**

1日(火)BFデリゲート応募締切、3日(木)チャリティラン、

しあわせの村、4日(金)第二例会(兼役員会)、6日

(日)ワイズデー、6日(日)あぶあぶあコンサート、うはら

ホール、13日～20日世界YMCA・YWCA合同祈禱

週、15日(火)15人以下クラブ適用除外申請期限、**18**



**日(金)第一例会19時～、西宮YMCA保育園3Fホール、ドライバー:足立康幸メン、丸山悦治メン**、19日～20日西日本区第2回役員会(Hクライトン新大阪)廣瀬交流主任出席、26日(土)第27回午餐会、正午～、会費:1,500円、講師:奈良昭彦氏

#### 12月の予定

**2日(金)第二例会(兼役員会)**、9日(金)チャリテワインの集い、18時30分～、神戸YMCAサイコー亭、**11日(日)神戸YMCA国際協力街頭募金14時から16時(神戸大丸北西角1)**、16日(金)17時～21時45分神戸市民クリスマス(キャロリング in Kobe)、日本キリスト教団神戸教会発(事務局:078-241-7201)、国際協力街頭募金、**16日(金)午後7時～、宝塚市民クリスマス宝塚ベガホール(阪急清荒神駅)**、**17日(土)第一例会(クリスマス祝会)(ドライバー:山本、小野)**

#### 1月の予定

**6日(金)第二例会(兼役員会)**、**7日(土)神戸YMCA 125周年記念音楽イベント**、14時開演、うはらホール、**8日(日)～9日(祝)次期役員研修会**、Hクライトン新大阪、**10日(火)後期半年報原稿締切**、**20日(金)第一例会(ドライバー:濱崎進一会長、三島浩司メン)**、**31日(火)BF切手送付締切**、**31日(火)IPE(次期国際会長)・ICM(国際議員)投票締切**

#### 2月の予定

1日(水)国際半年報(ワイズメンズワールド)発行、**3日(金)第二例会(兼役員会)**、**15日(水)後期区費納入締切**、**15日(水)各種献金締切(ASF, BF, CS, TOF, FF, EF, JWF他)**、**17日(金)第一例会、ドライバー:廣瀬一雄メン、藤原百合子ウイメン**、半年区報発行

### 東日本大震災被災地を支援しましょう



#### 編集後記

今月のプリテンは大幅に発行が遅れまして、皆様にはご不便をお掛けし申し訳ありませんでした。編集段階で、突如「写真」と「ワードアート」が全部飛んでしまうソフトのトラブルが発生し一瞬パニック。おまけに記録していたUSBメモリーを紛失するという二重のトラブルにすっかり落ち込みましたが、あちこちに紛失届けを出した割には「灯台元暗し」でバッグの底からUSBメモリーを発見し、安堵した次第で、つくづくバックアップの大切さを痛感しました。

トラブルの原因はパソコンの「Cドライブ」の容量が極端に減っていたためで、さっそくCドライブの容量を復元して、漸く再度編集作業が可能となりました。

歴代のプリテン担当者のご苦勞を再確認した次第です。次月からは通常のペースに戻って定期的に発行出来るように努力いたしますので、皆様もどうかご協力をお願いします。

さて、今年の秋も怒涛のイベントラッシュ一段落。西日本区の役員さんには11月の大切な第2回役員会が控えています。私の過去の拙い経験では、第1回(7月)はプロローグで、挨拶や方針展開。第3回(4月)、第4回(6月)の役員会の体勢は年度の総括を含め、次期西日本区大会に軸足を置いてますから、皆さんの力量の発揮場所は、専らこの第2回役員会(11月)が主戦場です。従って部会ラッシュも終えてようやく本腰を入れて今期の活動を展開する上で、最も充実した期間となります。

役員会では、ワイズの重要な活動や今後の課題や改革案が検討され充実したワイズにして頂きたいと思います。一重に底辺を支える各クラブからの要望やアイデアが反映されることが必定でしょう。役員会に臨まれる我がクラブ輩出の廣瀬交流事業主任さんには主張をぶつけて頂きたいし、クラブとしても惜しまず支援していきたいと思います。

前月にプリテンをコンパクトにすると公約しておきながら今月もまた12ページのボリュームになってしまいました。そこは皆様の熱気溢れる活動の反映と甘受いたします。90%を越える出席率がそれを物語ります。今後とも活発なアサーション(主張)を期待しております。

(chocobay)



11 - 12年度西日本区理事 浅岡徹夫

## 西日本区全ての部会が終了 今後の課題達成に期待

8月28日の中部部会から始まり、10月16日のびわこ部部会まで西日本区九つの部会が全て無事に終了しました。各々の部会はそれぞれの部の特色を出され、楽しく参加させていただきました。

私が最も印象に残った部会は瀬戸山陰部で、2000円の登録費にもかかわらずパイプオルガンを駆使した荘厳な部会式典、地域奉仕に関わる講演、手作りカレーの懇親会ではYMCAの素晴らしいコースも聞かせてくれました。ありがとうございました。もちろん他にもいろいろ素晴らしい部会が行われ、部会の成功度に甲乙はつけられません。部会の開催と同時に行われたメネットアワーにも全て出席させていただきました。こちらはメネット事業主任から別途報告されますのでご参照ください。

これで今年の部会は終了しましたが、今年度の事業、クラブ活動はむしろこれからです。改めて各々の課題に取り組んでいただきたいと思います。

西日本区としての今年の課題の一つは、地域奉仕活動や環境問題を積極的に取り組み社会に貢献することで、特に東日本大震災復興支援に全力を傾けることです。10月10日に東山荘で東西の日本区理事が会談し、この東日本大震災復興に継続的かつ協力して支援していくことを確認しました。協力して支援する例として、西日本区で作成した復興支援の帽子を東日本区でも積極的に販売していただいております。既に300個以上買っていただきました。西日本区では現在700個以上買っていただきましたが、メネット、コメントを含め、さらに多くの方に買っていただき、ワイズの様々な活動を行う時にこの帽子を活用いただきたいと思います。東日本の復興支援にはお金を送って現地で使ってもらうのが現段階で最も有効です。これから街頭募金やチャリティラン、チャリティコンサー

トなどいろんな方法で復興支援献金を集めて、西日本区に送金いただければ、被災者への最も有効な支援を実施して行きたいと思います。

二つ目の課題はYMCAを支援し、青少年の育成を図ると共にYMCAと協力し社会への貢献を果たして行くことですが、これはメネット国内事業や、東日本大震災復興支援の活動の中で、これまで以上の連携が図られています。ただ来年のノルウエー国際大会にユースを派遣するための資金作りはまだ不十分ですので皆様のご協力をお願いいたします。

三つ目の課題は各クラブの活性化と会員の増強です。最新のEMCレポートでは、7月1日年初に1678名であった会員が9月末に1703名まで増加してきています。皆様のご努力に感謝を申し上げますと共に、年末に向けて更に一層私たちの仲間を増やすよう頑張りたいと思います。新しく会員を獲得するにはまず自クラブが魅力ある例会を持ち、交流や研鑽を深めることが重要で、ワイズの素晴らしい活動を積極的に外部に広報するのも大切。その意味でも記念例会や特別例会に多くのゲストを招いて理解していただく機会を持つ事は有効な手段です。また新しいクラブ設立に向けてのご努力もお願いいたします。

西日本区を通じて、東日本区のお知らせです。

### 東日本区からのお知らせ

#### 「家庭で出来る復興支援」

11 - 12東日本区書記(震災支援対策本部総括)

田中 博之

「ベルマーク運動」では今まで学校(PTA)単位でしか参加出来ませんでしたが、この度「震災援助寄贈マーク」として個人やグループで参加出来ることになりました。各家庭等で集めた「ベルマーク」を直接「ベルマーク教育助成財団」に送ることで、被災地の学校の支援が出来るようになりました。クラブやメネット会で纏めて送ることも可能です。

・送付先等の詳細は以下をクリックして下さい。

<http://www.bellmark.or.jp/news/701/821.html>





"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

The service club of the YMCA  
THE Y'S MEN'S CLUB OF  
**NISHINOMIYA**



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB — CHARTERED MAY 17TH, 1948

## ブリテン別冊(会員寄稿コーナー)

125年を振り返って



(その17)

神戸YMCA125周年記念事業実行委員長  
長井 慎吾



125周年に際し活動の原点を振り返るため、神戸YMCA125年の先達の偉業をレビューしています。

今回は、現在私たちが通っている加納町の会館建設の経緯です。YMCAは、絶えず将

来の方向を考え研究し続けていかなければ豊かな活力が生まれません。安定している間に将来計画をと、1971年に「神戸YMCA施設拡充総合計画委員会」が発足し、新会館の建築計画の検討が始まりました。三宮駅から半径500メートルの範囲内で移転計画を探すとの条件で竹中工務店に依頼され、加納町2丁目の福富学園が売却相手を求めているとの情報が得られました。同年6月の理事会にて、計画委員会は建設委員会と改め、委員長に永津良三、委員に平井城、樋口伴治、西原基一郎の4理事が指名されました。建設の経費捻出の基礎を中山手の建物の売却におき、その資金で「福富学園・神戸ドレスメーカー学院」を買収し建設することとなりました。建設に先立ち、総主事の今井と竹中工務店の出江設計課長とが、1971年10月に約20日間全米各地の体育施設や礼拝堂を見て回りました。今井は、帰国後の報告会で、中老年層のフィットネスプログラムが医学的側面からもアプローチされていることにふれ、体育主事の医学的研究

常に先見性をもった今井の発言に、理事会は理解を示し、必要な提案は積極的に認めて行きました。そうして、1972年1月22日に関係者200名を集め、待望の起工式が行われました。建設資金の一部を募金するため、募金委員会が設置され、委員長に小野忠雄、副委員長に平井城、宮田満雄が指名されました。同年6月の募金決起大会で、今井は「お金を集めることは、YMCAの側に立って、YMCAのことを伝える立場になる。それが一つの証となるように」と話しました。この言葉は、私が125周年記念事業協賛募金のお願いを総会でする際に引用させて頂いた言葉です。

それから二年、目標の3千万円に対して、2千5百万円が集められたと記録されています。起工式から10カ月の1972年10月7日に祝福に参列した関係者と共に献堂式が執り行われました。かくて、1948年より順次入手していった中山手の会館も、8億4千万円弱で売却され、新たに4億6千万円強で福富学園を買収、新会館に生まれ変わった次第です。このために労した委員は73名、寄附金または現物を供与された個人は932名、法人は195社にのぼり、1974年9月の理事会で、新本館建設に関しての作業終結を感謝とともに決議しました。さて、この新会館の特徴は3つありました。1つは、体育館の充実です。単にメジャースポーツのできるフロアだけでなく、健康管理のためのフィットネスルーム、水泳プールの他、ハンドボールコート、さらにサウナバス、診察室を備え、現代病と考えられる身体的欠陥に対する予防的アプローチの展開が可能となったこと。2つ目に、教育施設の拡充で、L

L教室等の設置や語学訓練教材の開発にみられる、役に立つ外国語学習が可能となったこと。最後に、大きなロビーとチャペルの活用によって、人との交わりや出会いをする機会をもつことができることでありました。そのチャペルとロビーは、ワイズの部会やリーダーの研修、YYフォーラムなど多くの人と人の絆を深める役目を担い続けています。そこにあって当たり前のように使用している三宮会館ですが、このような経緯で建てられたことを知り得たことは125周年の振り返りとして大きな収穫であったと感心しています。

## 保育園だより

三島 浩司(保育園園長)  
(西宮YMCA 保育園だより10月号より)



### 10月の主題: やってみる

開園9年目、初めて運動会が雨天順延となりました。これまでも、天候不順で延期になりそうなことや、途中の降雨のため少し内容を短縮したことはありましたが、全くの順延は本当に初めてのことでした。子ども達や保護者の方々、近隣の方々にも色々ご迷惑をおかけした面もあるかと思えます。また、直前の順延決定にもかかわらず、ご理解、ご協力いただいたことに改めてお詫び申し上げますと共に、心より感謝申し上げます。運動会当日、一日延びたことが子ども達にどのような影響があるのだろうかと心配していましたが、集まってくる子ども達の顔を見るとそれは私達の「杞憂」でした。運動会が始まってそれぞれの演技や競技を楽しんでいる子ども達の笑顔は、普段の保育園で、また、予行演習などでも見たことが無いほどに輝いていたように思います。また、アンケートでいただいたご意見の中には、「去年はできなかったけれど...」、「わが子の成長を感じた...」など、一時の子ども達の演技や競技の様子だけでなく、長い時間の流れの中での子ども達の成長を見守ってくださっている保護者の方々の愛の大きさが感じられるものも沢山あり、心が温かくなりました。本当にありがとうございました。厳しい暑さも峠を越えて一年で最も過ごしやすいこの季節に、遊びでも生活でも色々なことに失敗を恐れず、自分の意思で「やってみよう!」と思える機会を増やして行こうと思います。

西暦1580年。日本では織田信長等が天下統一に向けて戦を続けていた戦国時代。この頃に放たれた「光」を今の私達は見ています。この光を放ったのは北極星です。地球から北極星までの距離は431光年、およそ4,000兆kmとなります。地球から最も遠い星は地球からおよそ130億光年。私達の感覚ではもう全く実感が持てない数字です。3月11日の震災も私達の想像をはるかに超えるものでした。多くの人の命や生活、平和を一瞬にして奪い去った震災。大きな愛で私達を包んでくださっているはずの神様の計画であるとは信じたくないような出来事です。けれども、私達の感覚では全く実感の持てない宇宙をも想像された神様の愛の「大きさ」も、私達の理解を超えた所にまで広がっているのではないかと思いますし、そう信じたいと思います。

今月の聖句は、神様の手による森羅万象の中に神様の栄光を見、賛美することに始まり、神様のみ言葉を聴き、罪からの解放=赦しを希う者となっていく姿が描かれています。私達も、私達の理解をはるかに超えた神様のみ言葉を聴きながら、一日一日の歩み続けて行きたいと思います。

10月聖句: 天は神の栄光を物語り、  
大空は御手の業を示す。

(旧約聖書 詩篇19:2)

## 西宮・宝塚リーダー会だより

西宮・宝塚YMCAリーダー会 前岸 もえさん

いつも西宮・宝塚YMCAリーダー会をご支援いただきありがとうございます。

肌寒く感じる日が増え、すっかり秋らしくなってきました。これから野外活動のプログラムも海や川などの水辺のプログラムから、野外料理や登山といった秋を感じられるプログラムへと変わっていきます。11月の例会に向けて、ロビンフッド・ピーターパン・トムソーヤ・エルマーの各リーダーが秋ならではのプログラムを準備中です。

10月16日に西宮YMCA保育園・西宮YMCAでカーニバルが行われました。普段の例会やキャンプとはまたひと味違って、たくさんの方と関わりつながりを感じられるカーニバルは、私たちリーダー会にとって特別な存在です。なので、今回のカーニバルも、どうすればもっとお客さんが楽しめるゲームを考えられるのか、どうすればもっと美味しくたこ焼きがしてくれるのかなど、時間をかけて話し合い、みんなで準備を進めていきました。そして当日は、会場のみなさんを巻き込んでのステージでのゲームを行い、ハローウィンにちなんだ様々なゲームをし、できたてホヤホヤのたこ焼きを用意しました。たくさんの人と協力し、こつこつと準備して迎

えたカーニバルで、たくさんの笑顔を見ることができて、とても嬉しかったです。今後も、こられた方がまた来年再来年も来たいと思えるようなカーニバルにしていけたらと思っています。

今後ともリーダー会一同全力で活動していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

## 触主面 登場 3



堤 一幸メン

### 『つながり』

何を書こうか悩みながら、今日まで先延ばしになっていました。

ある日の夕刻仕事を終え、会議のため神戸YMCA三宮本館に向かう途中で神戸クラブの先輩と「偶然」道中のバスで出会いました。車中では、「あの人は・・・、あの時は・・・」などのお話を聞くことができました。そして、三宮本館に着き、某所で寛いでいると、またまた「偶然」西宮クラブの先輩とバッタリ会い、お互いの近況を話し、会合に向かい、終える頃に「また、ここで待ち合わせ」ということになり別れ、2時間後合流し、「じゃー、いつもの場所に行こう」となり、二人で歩いていつもの場所ですばし「主(酒)の交わり」をしました。

さて、何を書こうかとPCを開いたのが、「こんがらがって」きているので、整理すると、「人は偶然の出会い」と「必然な出会い」を考えさせられています。昨今の「SNS」ブームにあやかって私は「mixi, twitter, facebook」をしています。それぞれのSNSで様々な出会いを楽しんでいます。実際にお会いして膝を突き合わせてお話しすることもありますが、パソコン(スマートフォン)に向き合って議論することもしばしばです。最近の若者は「面と向って話するのが下手...」とよく言われます。私も考えさせられています。しかし、私はこの西宮ワイズメンズクラブで「言いたいことは言える」ことを学びました。若かろうと、入会して間もないメンバーであろうと...

これから先、5年、10年、30年...と続く人生を「ワイズライフ」と共に「言いたい事は言える」仲間を大事にして、歩んで行こうと思います。

最後に『失ったものを数えるな、残されたものを最大限に生かせ』という言葉をご紹介します。これはパラリンピックを創った ルードウィヒ・グットマン博士の言葉で、あの日以来私の歩む道筋を作ってくれました。

### 【ブリテン担当よりのお願い】

次月以降の執筆予定は以下の通りです。お早目に原稿を送って下さい。(顔写真があれば添付下さい)

#### (4)12月号:馬場 貴英メン(11月20日まで)

- (5) 1月号:阪根 新メン(12月20日まで)
- (6) 2月号:石井 恭子ウイメン(1月20日まで)
- (7) 3月号:万本 敬一メン(2月20日まで)
- (8) 4月号:山口 吉郎メン(3月20日まで)
- (9) 5月号:山口 政紀メン(4月20日まで)

## 音楽を重なる日々は心を重なる日々に-47-



楽団あぶあぶあ&ミュージカルチーム  
LOVE 代表 ひがしの ようこさん  
濱 浩一メン

楽団あぶあぶあ&ミュージカルチーム  
LOVE は1982年に結成されて今年で、30周年を迎えます。私たちの歩みを皆様で感じ取って下さい。「音楽を通して、未知の人々と出会い、心かよわせ、喜びをわかちあいたい」「あぶあぶあの奇跡」皆様でお越し下さい。お待ちしております。  
楽団あぶあぶあではこの度30周年記念公演を予定して、2011年11月6日(日)うはらホールで開催します。

楽団あぶあぶあ&LOVEをご支援下さい。

### あぶあぶあ&LOVE基金へのご支援のお願い

あぶあぶあ&LOVEの活動資金をご支援下さい。活動拡大のため、ご支援いただく金額は問いません。

郵便振替:神戸 00940-6-71757

口座名:あぶあぶあ&LOVE



# 水の流るるのまはに47



山野 直行ともくに(小野勅紘メン)

(俳句)

・水を釣る みそ密かならむや あきあかね

(最近「あかとんぼ」を見かけますか？8月の末にもなるとあたり一面空が真っ赤になったものですが、とんと見かけません。これには湖沼が大きな役割を持っていて、幼虫である「ヤゴ」の生育には水が必要なのです。トンボすなわちヤゴがいないということは水を使う我々人間にとっても環境が破壊されていて危機なのです。さて「水を釣る」とは、とんぼのメスがお尻を水に「ちょんちょん」と着けては産卵をしている光景のこと。本当は産卵は密に行われるものですが、当のトンボは命かけ。それだけとんぼの産卵出来る湖沼が少なくなってきたためでしょうか。小動物の絶滅は、中動物、大動物にも必ず影響があり、ひいては我々人間の絶滅を迎えるのです。豊かな自然を大切にしていとも呼び戻したいものです。)



・熊野の里 のわき野分が後の 神さぶる

(8月、9月と奈良十津川村、五条、和歌山田辺、熊野地方に大雨が降り大きな被害が出ました。熊野古道は昔から神様の棲める里として知られていますが、それにしても神様のなせる業は「なぜ、ここに」と不思議な力ばかり。「神さぶる」という言葉は耳慣れない言葉ですが、平安の頃の源氏物語には、本来は「神々しい」とか「年功を重ねてすばらしい」といった良い意味で使われていました。しかしここでは神様のなせる業には抗うことも出来ず、じつとこの野分が去るのを待って、堪えているという意味に使いました。これからの復興は気の遠くなるような時間が必要でしょうか。神さぶる熊野の神様、我々に試練をお与えになりましたが、どうか私達に復興する勇気と励ましをお与え下さい！という祈りの詩。)

## 好朋友 (続編)

小野 勅紘メン

近江八幡クラブの小西逸子ウィメンと8月に台湾で開催されたアジア地域大会で俳句交流をさせていただいた様子を、2011年9月号のプリテンで紹介させていただきましたが、内容が少し違っていたことが判明しましたので修正も兼ねて「続編」を認めました。

文中小西逸子ウィメンのご主人(小西太吉氏・故人)は近江兄弟社にお勤めだったと紹介しましたが、実際は一粒社ヴォーリーズ建築事務所で、生前のヴォー

ーズ氏の側近としてずっとヴォーリーズ氏を支えてこられた懐刀的存在であったとのことでした。それはその後、ご主人が生前に「建築家メレル・ヴォーリーズの思い出」としての小冊子を執筆されており、その本編と続編を彼女からお送りいただいて判明しました。これは隠れたヴォーリーズのエピソードとして貴重な資料です。

私はこれを在籍していた会社の歴史資料館(深江)に寄贈しようかと思っています。西宮クラブの皆様にはコピーにして第一例会にてご披露させていただきます。以上修正を兼ねてご報告いたしました。

なお、小西ウィメンにおかれては10月15日の例会から帰宅直後に倒れられて救急車で搬送され入院されました。すぐに回復されて今はご自宅で静養されておられて、元気になられたとのこと安堵しました。回復してまたテニスに勤しむことが出来ることを楽しみにされています。

# 第14回チャリティラン

小野 勅紘メン

晴天に恵まれた11月3日(木)恒例のチャリティランがしあわせの村で開催された。いつもなら中々私の自宅の大坂から早朝に駆けつけることは苦痛であったが、今年心を入れ替えて最初から集合することにした。というのも前日から山本メンのお宅に泊めていただき、車に同乗して出発することにした。浅野メン、万本メンと同乗して予定通り到着した。既に皆さん準備に余念がない。

## 1. 初参加・初出走・初・・・

ワイズに入って9年チャリティランには、毎年ボランティアとしてカレーショップをお手伝いしてきたが、本番には一回も走ったことがなかった。障がい者部門でも出来たらと思っていたが、出走人数が足りない様子に、ここはクラブのピンチと、参加しなければと思い申し出た。

走者はいつものデイジョガーズ(瀨、馬場一、藤原、小野)と、ナイトリンカーズ(馬場貴、浅野、長井、山本)の2チーム。左隣を見ると神戸学園都市クラブの阿部メンが車椅子で待機している。これは負けてはおられないと気を引き締める。

最近テレビで紹介された「ソフト・ジョギング」というものが気になって、この場で試してみた。ハードジョギングでは反って体を壊してしまうので、ウォーキングより少

しアップしたようなゆっくりした走行が長続きするし、健康にもよいとのこと。何といても乳酸を貯めないのが疲労しない。ということでゆっくり走っていたら、瀨馬場(一)メンが遙か彼方のゴール前で待っている。それを心配して藤原ウイメンが気遣って、前に後にサポートしてくれる。優しい方だ。ようやく追いついて手を繋いで一緒にゴール。軽い疲労感と共に爽快感も味わう。結果は約80チーム中、ナイト・ドリンクーズが10位、デイ・ジョギーズが59位。結構宣言タイムに近かったのではと自負していた。抽選の結果2チームとも選外。何とも味気ない。これではお金を払って走るという『チャリティラン』の精神から逸脱している。抽選なら走らずに最初から抽選だけすればいいということになる。競り合うという興味が全く阻害されているからだという声が多い。

蛇足(まさに)ながら圧巻は山本メンの靴(西宮カーニバルで購入)。何と最初から靴底がパクリ。これが敗因かも。誰だこんな靴売ったのは、苦痛～!(ここ笑う所)

## 2. チャリティランのあり方を考えてみる

ゴルフにダブル・ペリア方式のハンディの決め方があるが、「実際の宣言タイム」の興味と「抽選」という公平さをミックスしてはどうか。即ち「黒字で宣言タイムを書いた書いたナンバーカード」を持って走って、ゴール後その下に「赤字でゴールした実際のタイムを記入」する。ゴール後封筒に入った「ハンディ」のシールを受け取る。

それをナンバーカードの裏に貼り付けて提出する。本部でそれを集計して結果を発表するというもの。そうすれば、公平さと競り合う興味とが合わさって、白熱すると思われる。当然タイムの記入には時計を持って走らない(結果を書くためにポケットにしまっておく)のは紳士的に励行する。仮にここでズルをしても封筒に入ったハンディのカードはブラックボックスなので+するか-するかは時の運。( + 50秒から±0を経て - 50秒まで10秒単位のハンディ) 来年から研究してみてもいいかでしょうか。せっかくのチャリティなのだから、スポンサー(走者)が楽しめなければ意味がない。

## 3. カレーショップ大繁盛、335食完売

さて、カレーショップですが、岩田メンがお店の中央

に鎮座して、指にタコが出来るほどカレーをかき回し続けて頂いたので、おいしいカレーが提供できたものと思われる。配膳や販売の皆さんも頑張ってください335食(83,750円)を売り上げて大変好調でした。皆さんお疲れ様でした。全体では当日約230万円。支援金などを合わせて合計で約350万円と好調でした。ありがとうございました。



(FINE)